飲酒運転防止の取組み

コンプライアンス委員会

飲酒運転に対しては、社会の厳しい眼が注がれています。特に、生徒を指導し、模範的立場にあるべき教員が、酒気帯び運転をすることは、教育公務員及び教育現場に対する信用を著しく失墜させるものです。また飲酒(酒気帯び)運転は、その教員のその後の身分や私生活に大きな悪影響を与えることとなります。

飲酒運転の防止及び根絶のため、下記のとおり取組みます。

記

《校内ルール》

- 1 酒席を開催する幹事は、「飲酒会合届」を管理職に提出する。
当日は「飲酒会合届」を酒席会場に持参し、帰宅方法について、参加者と情報を共有する。
- 2 管理職等は必要に応じて事前に、本人（特に代行で帰宅予定の者）に帰宅方法の確認を行う。
- 3 長野県高等学校の共通ルールを遵守する。

《長野県高等学校 共通ルール》

- 1 酒席に先立って
 - ・酒席会場には、原則として自家用車では参加しない。
 - ・運転代行での帰宅予定者については、飲酒前に運転代行を予約する。
 - ・運転代行での帰宅予定者については、2次会以降の参加を認めない。
 - ・飲酒の習慣がない教職員（体質的に飲酒できない等）は上記の限りではない。
- 2 酒席に際して
 - (1) 開会に先立ち実施
 - ・幹事・管理職等は自家用車で会場に来ている者について確認し、その者について飲酒の有無、帰宅方法について確認する。
 - ・運転代行での帰宅予定者については、その予約状況を確認する。
 - (2) 酒席終了時実施
 - ・幹事・管理職等は帰宅方法について、改めて全員に確認をする。
 - ・運転代行での帰宅予定者については、代行車への乗車を駐車場等で確認する。
- 3 対象となる酒席
 - ・学校全体及び学年会、教科会の酒席等、勤務場所から直接酒席会場に向かうもの。